佐賀市薬剤師会における自立支援型地域ケア会議の取り組み

（一社）佐賀市薬剤師会

中嶋宏樹

はじめに

佐賀市薬剤師会は平成29年度の地域包括支援センター（以下、おたっしゃ本舗という）佐賀で開催する「自立支援型地域ケア会議」に薬剤師をアドバイザーとして薬剤師1名を派遣した。平成30年度、佐賀県薬剤師会は佐賀県および佐賀中部広域連合から各自立支援型地域ケア会議のアドバイザーとして薬剤師の参加依頼をうけて、各地域薬剤師会として対応するよう指示した。

目的

佐賀市薬剤師会としては、薬剤師の職能を通じて市民の保健・医療・福祉の向上に寄与し、また薬剤師の倫理高揚を図り、学術の振興、薬学、薬業の進歩発展を通じて地域医療に貢献することを目的とし様々な事業を実施しており、その中の一環として自立支援型地域ケア会議の専門職アドバイザー派遣を行う。

方法

佐賀市のおたっしゃ本舗は15あり、各々のおたっしゃ本舗が主体となり自立支援型地域ケア会議を実施するため、同日同時間帯開催もあることから、会議でのアドバイス内容の標準化や派遣日決定のため、派遣薬剤師の定例会議の出席および佐賀市医療・介護連携会議への参加を条件として募集した。

結果

今現在11名の薬剤師がアドバイザー登録をしている。アドバイザー薬剤師の定例会議は1～2ヶ月に1回程度WG会議として開催し、地域ケア会議での状況や助言内容の報告、派遣日の決定などを行い、9月末までにおたっしゃ本舗15か所のうち11か所からの依頼を受け、延べ32名の薬剤師がアドバイザーとして参加した。

考察

すでに来年度の参加依頼および佐賀中部広域連合主体のプラン検討会議に関しても依頼がきていることは、信頼を得た証拠と素直に受け止めている。地域包括ケアシステムが構築されていくなかで薬剤師の職能を活かす場を広げ、地域貢献につながる活動をすることは地域薬剤師会の責務である。今後も薬剤師の未来を見据えて事業に取り組んでいきたいと考えている。

キーワード：佐賀市薬剤師会、自立支援型地域ケア会議、アドバイザー